

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽I

教科： 芸術 科目： 音楽I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： （ ON！1 音楽之友社 ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよう

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽I の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--|--|---|
| 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 | 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 | 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容   | 表現   |   |   | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配<br>当<br>時<br>数 |    |
|-------------|---|--|---|---|------|---|---|---|------------------|----|
|             |   | 歌  | 器 | 創 |      |   |   |   |                  |    |
| 1<br>学<br>期 | 発声の基本と音楽の特徴を生かした歌い方<br>【知識及び技能】<br>曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。<br>曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。  | 基本的な発声<br>曲想と旋律の特徴との関わりを生かした歌い方の工夫<br>「校歌」<br>「少年時代」<br>「花は咲く」<br>「翼をください」 | ○ |   |      |   | ○ | ○ | ○                | 13 |
|             | 音楽の特徴を生かしたリズム・アンサンブル<br>【知識及び技能】<br>曲想と音楽の構造との関わり、曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する。<br>曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>音色、強弱、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。<br>【学びに向かう力、人間性等】   | ソルフェージュ<br>「クラッピングカルテット第1番」など  |   | ○ |      |   |   | ○ | ○                | ○  |
| 2<br>学<br>期 | 発声法と言語の特徴を生かした歌い方<br>【知識及び技能】<br>言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。<br>曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>音色、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。   | ベルカント唱法<br>イタリア語の言葉の特性<br>「Caro mio ben」<br>「O sole mio」など                 | ○ |   |      |   | ○ | ○ | ○                | 14 |
|             | 作曲の初歩～メロディーのつくり方<br>【知識及び技能】<br>音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。<br>旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。 | 順次進行<br>跳躍進行<br>和声音<br>非和声音<br>「コード進行からメロディーをつくろう」                         |   |   | ○    |   |   | ○ | ○                | 14 |

|             |  |   |   |  |  |   |   |   |   |    |
|-------------|--|---|---|--|--|---|---|---|---|----|
| 3<br>学<br>期 | <p>調和する合唱に適した発声と歌い方</p> <p>【知識及び技能】<br/>曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。<br/>曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>主体的・協働的に歌唱の学習活動に</p> | <p>混声合唱</p> <p>「合唱祭課題曲・自由曲」など</p>   | ○ |  |  | <p>【知識及び技能】<br/>曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。<br/>曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 8  |
|             | <p>クラシック・ギターの初歩</p> <p>【知識及び技能】<br/>曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する。<br/>曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。</p>              | <p>調弦</p> <p>アヤバンド奏法<br/>アル・アイレ奏法<br/>ギター・アンサンブル</p> <p>「喜びの歌」<br/>「かえるのうた」など</p> | ○ |  |  | <p>【知識及び技能】<br/>曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。<br/>曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>               | ○ | ○ | ○ | 8  |
| 合計          |  |   |   |  |  |   |   |   |   | 70 |